

TOPIC 10 雨に負けず全力疾走

7/9 第5回庶路学園運動会

庶路学園の運動会が同園グラウンドで開催されました。今年のスローガンは「全力少年～ゴールまで全力で走り抜けろ!～」。

あいにくの雨となりましたが、児童生徒たちは全力で競技に取り組んでいました。1～9年生までの全校児童生徒による「大玉送り」や3・4・8年生による「ペアでチャレンジ」などの競技では、小学生と中学生が協力する小中一貫校ならではの姿が見られ、傘をさした会場の保護者から大きな声援が送られていました。



ぐるぐるバットで目が回っている上級生の手を引く下級生(右)



町職員からシソの苗を受け取る佐藤さん(右)

TOPIC 7 「紫蘇香るまち」をPR

7/6 白糠町内でシソの苗販売

農業生産法人株式会社大前産業(大前祐二社長)が栽培したシソの苗販売が町内で行われました。

大前産業では町の特産品「鍛高ラムネ」などの原料となるシソを栽培。町では「紫蘇香るまち」をPRするため、シソの苗販売に協力しています。

シソの苗は「ちりめん赤しそ」「ちりめん青しそ」「大葉青しそ」の3種類。今年は30人に414株の苗を販売しました。今回初めて購入した佐藤尚枝さんは「シソジュースにして味わいたい」と話していました。



体育館で大久保さん(右)と一緒に校歌を練習(白糠小)

TOPIC 11 歌詞の場面を想像して歌おう!

7/11 オペラ歌手大久保光哉さんが授業

白糠小学校と白糠中学校では、白糠町出身でオペラ歌手の大久保光哉さんを招いた授業を行いました。

大久保さんは8月に開校する白糠学園の校歌を作曲。授業では、大久保さんと一緒に白糠学園の校歌を練習しました。大久保さんは「歌詞の場面を想像して歌おう」などとアドバイス。最後に「開校式での歌を楽しみにしています。今日はすごく楽しかった」と話していました。白糠小4年の松田わかさんは「美しく元気よく歌えるように頑張ります」とお礼を伝えました。

TOPIC 8 町建設業協会、100万円を協賛会に寄付

7/7 白糠こども園新園舎で寄付贈呈式

白糠町建設業協会(山根浩会長)は、白糠こども園新園舎で白糠町立白糠学園開校・白糠こども園落成記念協賛会(高橋隆助会長)に100万円を寄付しました。

寄付贈呈式には同建設業協会の山根会長と工藤勝副会長、同協賛会の高橋会長、白糠中学校の滝川敦善校長が出席。山根会長が高橋会長に目録を手渡しました。

高橋会長は「子どもたちのために有効に活用させていただきます」と感謝していました。寄付金は大型プロジェクトや、こども室内遊具などに活用されます。



(左から)工藤副会長、山根会長、高橋会長、滝川校長

TOPIC 12 スマホの使い方を学ぶ

7/12 公民館講座「スマートフォン講座」

スマートフォンの基本的な使い方を学ぶ「スマートフォン講座」が公民館で開かれ、6人が参加しました。

今回の講座は年齢別の2コース(各3回開催)。この日は、70歳以上が対象の「初心者コース」の1回目で、ケイズプランニングの佐々木圭一さんを講師に、カメラやライト機能の使い方などを学びました。

講座に参加した木村紀和湖さんは「5月にスマートフォンを使い始めました。分からないことが何でも聞けたので、参加して良かったです」と喜んでいました。



参加者から個別質問を受ける講師の佐々木さん(中央)



磯部会長(手前)の指導でシカ肉を切る参加者

TOPIC 9 アイヌの食文化を学ぶ料理体験

7/8 アイヌ料理講座

アイヌ文化体験講座「アイヌ料理講座」がウレシパチセで開催され、町内から5人が参加しました。

この日は、アイヌ文化保存会の磯部恵津子会長を講師に、ギョウジャニンニクやワラビなどを混ぜた「山菜ご飯」と「エゾシカ肉のみそ炒め」の2品を作りました。アイヌ料理に興味があり参加したという畑野満子さんは「アイヌ料理の味の付け方や保存方法などが勉強になりました。家庭でも作ってみたいです」と話していました。